

令和7年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

港湾振興課

1 施設の概要等

施設名	広島観音マリーナ		
所在地	広島市西区観音新町四丁目		
設置目的	海洋性スポーツの振興及びレクリエーション活動の普及		
施設・設備	マリーナ施設(艇置施設、上下架施設、駐車場等)		
指定管理者	4期目	H28.4.1~R8.3.31	(株)ひろしま港湾管理センター
	3期目	H26.4.1~H28.3.31	(株)ひろしま港湾管理センター
	2期目	H21.4.1~H26.3.31	(株)ひろしま港湾管理センター
	1期目	H18.4.1~H21.3.31	(株)ひろしま港湾管理センター

2 施設利用状況

利用状況	年度	収容可能艇数	目標値 [事業計画]	艇置数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	4期	R7	577艇	290艇	263艇	△2艇
R6		577艇	290艇	265艇	9艇	△25艇(91.4%)
R5		577艇	290艇	256艇	△17艇	△34艇(88.3%)
R4		577艇	295艇	273艇	△4艇	△22艇(92.5%)
H28~R3 平均		577艇	285艇	277艇	△2艇	△8艇(97.2%)
3期平均26~27		577艇	278艇	279艇	△8艇	1艇(100.4%)
2期平均21~25		577艇	296艇	287艇	△41艇	△9艇(97.0%)
1期平均18~20		577艇	—	328艇	9艇	—
17(導入前)	577艇	—	319艇	—	—	
増減理由	海上保管艇が別マリーナに移動したため保管艇が減少した。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	ボートやヨットの所有者以外を含む利用者ニーズの把握のため、観光事業者と情報交換を定期的に行った。	海外ビジターコーディネイトエージェント1社 観光会社2社
	【主な意見】	【その対応状況】
	栈橋沈下の改善要望(フロート変形による)	危険箇所等については、緊急修繕に努めた。
	給電装置の更新要望	要望の多い給電装置(パワーポスト)を5基交換した。
	海外ビジターの長期係船の要望	増加傾向にある海外ビジターの長期係船に対応するため、コーディネイトエージェントと係船及びサービス向上の調整を行った。
	陸上保管艇待機栈橋の更新要望	陸上保管艇待機栈橋は海外ビジターの大型艇係船の利用にも有効なため、改修について調整中。
海上栈橋Eバースの修繕要望	海上栈橋Eバースはディングー等の体験会に有用なため、フロート交換やデッキの補修等を行った。	
マリーナを離発着基地とした航海観光プラン開発	観光会社2社と航海観光プラン開発を行った。	

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書、損益決算書、修繕実績報告書、行事实績報告書
	月報	○ プレジャーボート収容状況報告等
	日報(必要随時)	○ 苦情、トラブル等について随時報告
管理運営定例会議(毎月)	【特記事項等】 海上の安全航行のために、マリン業界、広島県水難救済会及び海上保安庁との連携による航行安全活動及びレスキュー活動を広島観音マリーナが中心となって取り組んだ。 【指定管理者の意見】 施設の老朽化に対応するため、県と連携し、継続して改修優先順位の高いものから改修に努める。 【県の対応】 施設の老朽化対策について、指定管理者と連携し、今後の修繕箇所について調整を行う。	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

年度	金額	対前年度増減	年度	金額	対前年度増減		
						年度	金額
県委託料 (決算額)	R7	0	0	料金収入 (決算額)	R7	176,806	31,344
	R6	0	0		R6	145,462	21,067
	R5	0	0		R5	124,395	△2,761
	R4	0	0		R4	127,156	7,062
	H28～R3 平均	0	0		H28～R3 平均	120,094	8,563
	3期平均26～27	0	0		3期平均26～27	111,531	12,028
	2期平均21～25	0	0		2期平均21～25	99,503	△23,752
	1期平均18～20	0	0		1期平均18～20	123,255	11,473
	17(導入前)	0	—		17(導入前)	111,782	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目	R7 決算額	R6 決算額	前年度差	主な増減理由等	
収入	県委託料	0	0	0	
	料金収入(※1)	176,806	145,462	31,344	保管艇の大型化による増
	その他収入	93,637	108,202	△14,565	社有品売却収入の減
	計(A)	270,443	253,664	16,779	
支出	人件費	51,825	43,152	8,673	社員増員
	光熱水費	12,483	12,194	289	
	設備等保守点検費	3,669	3,560	109	クレーン点検費増
	清掃・警備費等	40,382	40,593	△211	
	施設維持修繕費	31,405	25,047	6,358	栈橋修繕費の増、エアコン設置による増
	事務局費	58,114	60,255	△2,141	減価償却費の減
	その他	42,588	30,220	12,368	栈橋修繕資材の仕入増
	計(B)	240,466	215,021	25,445	
収支①(A-B)	29,977	38,643	△8,666		
自主事業 (※2)	収入(C)	0	0	0	
	支出(D)	0	0	0	
	収支②(C-D)	0	0	0	
合計収支(①+②)	29,977	38,643	△8,666	(うち県への納付金額16,863千円)(R7) ※3	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。
指定管理者の自主的な経営努力を發揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び
指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

※3 資本費相当額：県が負担した施設の整備費を収益から負担金として納付されている。

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用發揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	県外ボートショーへの出展や広島ボートショーを実施した。 免許事業者による免許教室等開催やチャーターボートによる新規ボーティング顧客の取り込みを図った。	広島ボートショーの実施や県外ボートショーへの出展、クルージングコンシェルジュ業務の実施により、海洋性スポーツの振興及びレクリエーション活動の普及並びに施設の知名度向上を図っている。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	広島県からのクルージングコンシェルジュ業務を受託し、情報の発信に努めた。 艇置契約につながるプレジャーボートのユーザー化に向け、外部事業者によるレンタル事業を3艇体制で展開するなど、推進・充実を図った。	新規入艇促進のため、免許教室等の開催やチャーターボート及びレンタル事業の推進、マリン事業者との情報交換等様々な取組を行っている。
	○業務の実施による、施設の利用促進	入艇紹介制度を継続し、マリン事業者との情報交換を図るなど、新規入艇のための営業活動を推進した。	増加傾向にある海外ビジターの係船の利用促進のため、コーディネイトエージェントと調整の上、サービス向上に努めている。
	○施設の維持管理	ビジター係船の利用促進のため、海外ビジターのコーディネイトエージェントと協議し利用環境を整備した。 大型艇のシングルバースの周知を行い保管契約・ビジター利用の増加を図った。	
管理の人的基礎	○組織体制の見直し	広島観音マリナと広島地域マリナ施設を総括的に部門責任者が統括し、経営判断をはやめ、新規契約の増加や解約防止の推進に取り組んだ。	組織体制の見直しを行い、施設を総括的に統括する体制を確立したことで、経営判断の迅速化が実現し、新規契約の増加などの推進が効果的に行われている。
	○効率的な業務運営	老朽化した施設部分の修繕費を捻出するため、令和6年度に緊急対策として売却した社有艇に代わる船舶の購入は行わず、引き続き備船契約によりレスキュー・チャーター艇を確保するなど、経費の圧縮を継続した。	老朽化した施設の修繕のため、継続して経費の圧縮を実施し、効率的な修繕のため、修繕の内製化や施設・機器の改良を行っている。
	○収支の適正	修繕を効率的に行うため、多く修繕を内製化し、且つ効果的(耐久性向上等)に行うため、海上施設、機器の改良、改善を行った。	
総括		新規入艇や施設の知名度向上のため、イベント出展や免許教室の開催、海外ビジターのコーディネイトエージェントとの協議を行った。 管理経費の抑制に努め、効率的な施設運営に取り組んでいる。	ボートショーへの出展による施設の知名度向上やコーディネイトエージェントを活用した海外ビジターの誘致など施設の利用促進に努めている。

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和8年度)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大型艇誘致を含む収容艇数の維持増大 ○ ボート免許事業者との連携による受講者へのマリンレジャーへの取り込み動機付けの推進 ○ チャーター事業、レンタル事業及びマリナアライアンス事業の活用による、クルージング需要の訴求 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 需要が高まっている海外ビジターの長期係船を始めとする施設の利用促進について、指定管理者の取組に対し必要な支援を行う。
中期的な対応	<ul style="list-style-type: none"> ○ 適切な施設の維持管理及び更新の調整 ○ 海上保管を敬遠する地域性から陸上保管が満艇であることを踏まえた、海上保管の利便性、経済性などの差別化と県外需要の訴求 ○ マリナの魅力発信による利用拡大 ○ ホームページを活用してモノ(施設・設備)訴求からコト(楽しさ・安全)訴求による幅広い層への訴求力向上と誘因力の強化 ○ ボート免許から所有・保管に至るまでの安心・安全なサービスの提供 ○ 地域観光振興及び長期的な艇保有者減少の対策を目的に、不定期航路事業者のマリナ利用(保管・運航) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指定管理者と連携を図りながら、施設の更新及び修繕計画の策定を行う。 ○ 経営基盤強化のための保有・管理資産の活用及び県民に対する海洋性スポーツの振興及びレクリエーション活動の普及に向けた取組への協力を行う。 ○ 地域観光振興及び長期的な艇保有者減少の対策への協力を行う。